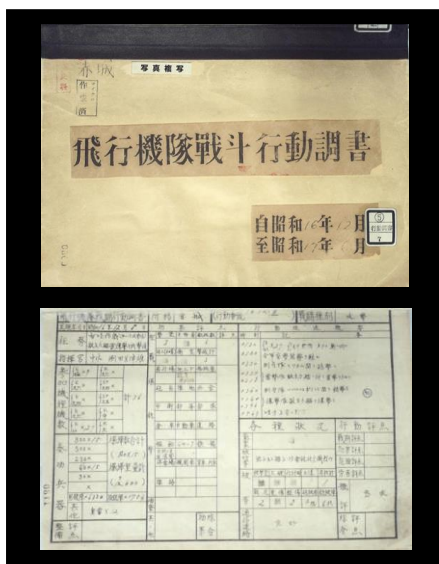


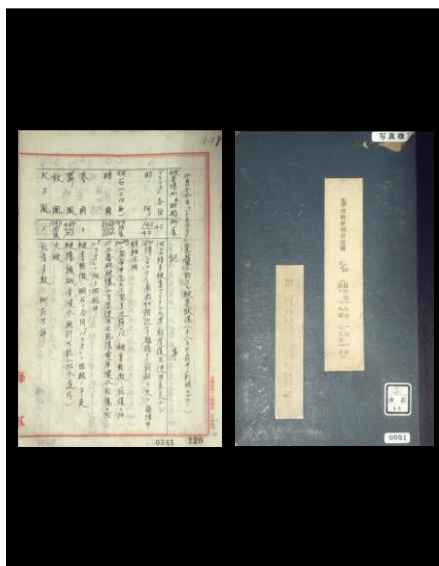
平成29年度も、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎月一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

はせがわ きいち
《 長谷川 喜一 1894～1944年 》
一埼玉県出身の海軍中將一



赤城飛行機隊戦闘行動調書 (登録番号：⑤航空関係-行動調書-7)

長谷川喜一中将は、大正3年12月、海軍兵学校(42期)を卒業後、空母「龍驤」艦長、第12航空隊司令などの要職を経て、昭和16年3月、連合艦隊の機動部隊旗艦となる空母「赤城」の艦長に就任、開戦を迎えます。昭和16年12月8日午前1時30分、「赤城」を飛び立った飛行隊長淵田美津雄中佐は、各空母(赤城、加賀、蒼龍、飛龍、翔鶴、瑞鶴)を発艦した第一次攻撃隊183機を指揮して、ハワイのオアフ島を目指します。午前3時19分、淵田は第一次攻撃隊にあて略語「ト連送」(トトトト)で全軍突撃を命じ、続いて午前3時22分、略語「トラ連送」(トラトラトラ)で、「赤城」に奇襲成功を報告します。この史料は「赤城飛行機隊戦闘行動調書」で、ハワイ作戦などにおける赤城飛行隊の編制や行動経過概要などが記されています。



太平洋戦争経過概要 (登録番号：③大東亜戦争-全般-18)

ハワイ作戦ののち、インド洋作戦に参加した長谷川は、その後土浦海軍航空隊司令に転出、航空本部補給部長、同第4部長を歴任した後、第50航空戦隊司令官を経て、昭和19年1月、第22航空戦隊司令官に就任、3月29日の米機動部隊によるトラック空襲で戦死します(中将に昇進)。2月17日から18日にかけてのトラック空襲、次いで2月23日のマリアナ空襲に引き続く今回のトラック空襲で、再建途上の航空部隊は壊滅的被害を受け、特に優秀な搭乗員を多数失ったことは、じ後の作戦に大きな影響を及ぼしました。この史料は「太平洋戦争経過概要」で、戦時中海軍功績調査部が電報をもとに作製した全10冊のうちの第7冊(昭和19年1月1日～同年3月31日)で、上記トラック空襲やマリアナ空襲など、中部太平洋方面の戦況が暦日ごとに記されています。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない、一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。
防衛研究所企画部企画調整課

専用線：8-6-29171、29175 (史料紹介コーナーのみ29651)

外線：03-3260-3011

FAX：03-3260-3034

※ 防衛研究所ウェブサイト：www.nids.mod.go.jp